

C-3 単元計画

(総時数 8 時限)

次	ねらい	主な学習活動の流れ	支援と評価
<p>第一次 基本の形をつくる (4)</p>	<p>単元を通す課題を共有し合い、基本の形の作り方を理解して、ていねいにじょうぶにつくる。</p>	<p>●資料や実際の作り方を見て基本の形を知り つくるものの見通しを持つ</p> <p>資料や実演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱になってたんだ。 ・外から箱だと分からない。 ・横型 縦型の表現ができる。 <p>基本の形に部分を加えて 楽しい(美しい)置物をつくろう</p> <p>●アイデアスケッチをする</p> <p>●指示を受けながら基本の形をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習把握と課題設定のために、資料などからつくるものに見通しを持ったり作り方を知ったりする場を設ける。 <p>学習課題や、基本の形をつくる上で大切なことが適切に述べられている。 <関心態度> (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二種類の筒がつかれるように、手順ごとに資料を見せながら説明する。 <p>「基本の形」を指示通りにつくっている。 <技能> (作品)</p>
<p>第二次 課題で大切なことを考え合う (1)</p>	<p>部分をつける場所や作り方において、立体的な部分の加え方のよさを感じ取ることができる。</p> <p>本時</p>	<p>●表現で大切なことを考える</p> <p>作例提示 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい方向とさびしい方向がある ・どの方向から見ても部分があると楽しく感じる。 <p>作例提示 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく見ると基本の形のままだ。 ・とび出る部分が多いと楽しい感じがするし全体がものの形になる。 ・立体的な作り方にした方がいい。 <p>どの方向から見ても楽しい作品になるように部分を考えよう。 部分はできるだけ基本の形からとび出る作り方でつくろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現で大切な見方考え方を具体的に認識できるように、順序立てて対照的な作例を提示し、視覚的によさをとらえながら考えがまとめられるようにする。 <p>部分を加える時に大切なことは、「どの方向から見ても楽しくすること」と「部分とはとび出る作り方にする」というように、立体的な表現をすることだと認識されている。 <鑑賞> (ワークシート)</p>
<p>第三次 つくりたいものをつくる (3)</p>	<p>基本の形に部分を加えて楽しい美しい置物をじょうぶにつくること</p>	<p>●いろいろな方向から見て加える部分を考え 箱全体を立体的なものにする</p> <p>●相互鑑賞で 部分の場所や作り方の大切さを再確認したり表現方法の考え方を広げたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上にも下にも部分がついている ・のりしろを切って くちばしが立体的につくられている ・手にかばんを持たせている <p>●つくり方や接合方法に気をつけてつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筒の作りかたで帽子ができた ・あとのりしろをつくってもいいんだ ・下から支えるものをつくったら丈夫になった <p>●活動や表現のよさをふりかえる</p> <p>どの方向から見ても楽しくなるように、前だけでなく横や後ろの部分も考えたり、なるべく基本の形からとび出るような部分をつけたりすると、楽しい置物になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立体的に部分を加えるよさを実感できるように、相互鑑賞の場を設ける。 <p>部分の場所と作り方のよさでとらえている。 <鑑賞> (ワークシート)</p> <p>楽しい部分を考え、立体的な表現になるようにつくり方を考えている。 <発想・構想> (行動・作品)</p> <p>部分のつくり方や接合を工夫して形よく丈夫につくっている <技能> (行動・作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを自覚できるように、ワークシートや表現をふりかえる場を設ける。 <p>立体的な表現や丈夫なつくり方を観点に述べている。 <鑑賞・関心態度> (作品カード)</p>

